



平成三十一年四月三十日 御代替り奉祝提灯行列 於 弓弦羽神社
御代替り奉祝提灯行列



ゆづるは神社社報

発行所
弓弦羽神社社務所
〒658-0048
神戸市東灘区御影郡家 2 丁目 9-27
(旧地名：弓弦羽ノ森)
TEL 078(851)2800
FAX 078(851)2803
URL=http://www.yuzuruha-jinja.jp/

印刷所
(株) マテックス
神戸市中央区筒井町 2 丁目 1-38

ご挨拶

宮司 澤田政泰

今年の四月をもって平成の御代が終り令和となりました。上皇上皇后両陛下・天皇皇后両陛下はもとより皇室の御安泰ならびに国運の隆昌、氏子崇敬者各位のご多幸、ご発展を心より祈念いたします。

御代替りをお祝いし、全国各地で沢山の奉祝行事が執り行われました。当社でも、平成最後の四月三〇日、それぞれの氏子地区より隊列を組んで、神社まで「提灯行列」がございました。参加者全員が境内に揃った後、各地区の代表者が拝殿に上がり、「天皇陛下御譲位御安泰祈願祭」を斎行し、引き続き全員で拝殿前に掲げた日の丸を通し「聖寿万歳」を三唱いたしました。上の写真はその時の写真です。写真には映っていませんが、カメラの後方の境内は五〇〇名を超える参加者で埋め尽くされ、企画した我々の予想を遥かに超える盛況で、用意した飲み物も不足する程でした。

灘区・芦屋市)と西宮市・宝塚市の地車四十五台がJR本山駅北の山手幹線に集結し奉祝パレードが賑々しく行われ、当社の氏子地区の八台も参加いたしました。

さて、令和元年五月一日の御朱印を求めて全国各地の有名社寺では長蛇の列が出来たとの報道がございました。当社でも、長蛇とは申せませんが五百名以上の方が御朱印を受けられました。社頭で見えておきますと、数年前に若い女性から始まった御朱印ブームは、高齢の女性そして高齢の男性から若い男性へと広がり、現在は老若男女を問わず定着した感があります。その中で御朱印の対応をめぐって参拝者のマナーの悪さが指摘されました。しかしながら、本社の朱印の方もブームを当て込んで、本来の朱印から離れたカラフルな物や毎月違う特別御朱印等々趣向を凝らす所も増え、結果として参拝者ではなく朱印コレクターを煽る事となつてしまっているのは本末転倒と言わざるを得ません。「過ぎたるは猶及ばざるが如し」心がけたいものです。

月に一度は氏神様にお参りしましょう。
新車は必ず交通安全祈祷にご参拝ください。

吟仕込み味處 はいから 〒658-0054 神戸市東灘区御影中町4丁目8-25 TEL 078-856-5791 営業時間 5:00PM~10:00PM 毎週水曜日定休	米工房 KOMEGI SAKI 高田屋 0120-05-5138 灘の地酒・ワイン 六甲ビール・こだわり焼酎 (山手幹線沿い山側)	MAISON DECOR DESIGNER JAMRH S MAISON DECOR メゾンデコール 東灘区御影郡家1丁目25-12 グレイス御影1F PHONE 078-854-5810 FAX 078-854-5786 営業時間 AM10:30~PM6:30 水曜定休 美しい布のある暮らしを提案します	襖・表装・屏風 各種壁張 錦綾堂 夏原表具店 東灘区御影2丁目2-17 (阪急御影駅前東) 電話 (078) 851-8310 FAX (078) 851-8310		
弓弦羽生活家 ゆづるは (協)御影市場(旨水館) (阪神電車 御影駅高架下) 神戸市東灘区御影本町4-11-10 TEL(078)841-2954 http://www.mikage-ichiba.com	おまかせください! のぼり 幕 法被 たすき 提灯 太鼓 その他無礼用品 株式会社 谷尾 神戸営業所 神戸市兵庫区水木通6-3-4 TEL 078-575-7721 FAX 078-575-7621	抹茶と茶道具・茶道教室 いわたん 住所: 〒658-0047 神戸市東灘区御影 2丁目10-27 エレガントライフ御影301 TEL&FAX:078-851-3114 営業時間:午前10時~午後6時 定休日:毎週火曜日 ホームページ: https://sites.google.com/site/mikageiwataen	創業享和元年 御菓子司 虎屋吉束 東灘区御影本町四丁目一一 電話〇七八(八五)二四四四		
YAKINIKU RESTAURANT 高麗飯店 東灘区御影郡家1丁目21-15 TEL(078)842-3319 FAX(078)842-3398	池尻石材工業 池尻 一神戸支店一 神戸市東灘区御影本町4-12-28 御影旨水館内 電話 078-851-3400 http://butsuji-ikejiri.com/	カラオケ喫茶・スナック Live カラオケ・喫茶 午後1時~午後4時 (土・日・祝 休み) スナック 午後7時~午後11時30分 (日・祝 休み) 神戸市東灘区御影本町4丁目12-7 電話 (078) 854-0499	炒ばた焼 現吉 阪神御影 御影中町1丁目4-15 Tel 851-2695		
SANYO AIR SERVICE CO.,LTD 地球規模の感動を届けたい 神戸No.1の店舗ネットワーク SAS 三洋航空サービス http://www.travelsas.co.jp	御菓子司 常盤堂 神戸市東灘区御影中町4丁目 電話 078(851)4677番代	めぐみ 弓弦羽神社 北側 ☎ 078-822-2239 休診日曜・祝日 めぐみ鍼灸院	【神前挙式バック】 ¥200,000(税別) ご新郎様・ご新婦様 衣裳一式 着付け・ヘアセット・メイク 全て揃ったトータルバック (株)スエヒロ衣裳 西宮市戸田町4番8号 0798-33-1814		
清酒 白鶴 時をこえ 親しみの心をおくる				辛口ひとすじ 菊正宗 神戸・灘 菊正宗酒造株式会社 菊正宗ホームページ http://www.kikumasaamune.co.jp	

後醍醐天皇とその周辺②

全国熊野会鳥取県支部長

葦原神社 宮司 河合 鎮徳



後醍醐天皇をめぐる不思議な「えにし」

先回の「ゆづるは」で、後醍醐天皇は伯耆の国(鳥取県中・西部)のどこにお着きになったのかを一緒に探求する事をお知らせしました。ところがその後、私にとって大きな事件が起こってしまいました。

毎年恒例の「河合宮司と行く参拝旅行」で、昨年(平成三十年)の十月に吉野神宮を参拝し、参加者には御祭神である後醍醐天皇の事について説明をし、宮司の東氏には「ぜひ隠岐の島と、私の地元の鳥取県にある名和長年公をお祀りした名和神社と、そして後醍醐天皇の行在所だった船上神社にも参拝してください。」と申し上げました。その後すぐの十二月中旬でした。私の神社に来られた、船上神社の役員六名から「船上神社の宮司の命が危険な状態で、本人の退職希望もあり、新宮司に就任して欲しい。」とお願いされました。

経済王の渋沢栄一が船上神社を支援

数歳若いはずの宮司の病重く、一瞬を争う雰囲気の中、「私は手いっぱい、しかも、七十歳近くになって六百メートルの山岳に登り、祭典することは過酷です。」と即答を避けました。家族会議を開いて、息子の欄宜の意見を聞くと「父さんは二・三度ほど祭典をして、後は僕に任せるつもりだろうけど何度も何度も山に登り、お祀りをするのはこの僕なんだよ。」といいます。しかし、妻の「皆さんのためにお受けしないといけないでしょう。こんなに困っておられるのに！」という一言で、返答をするための一週間の猶予期間は吹っ飛びお受けすることで決着しました。年が改まり、神社本庁への書類等の提出。そして、兼務辞令が届けました。相前後するかのようには前宮司は旅立ちました。役員会を開き、引継ぎの無かった事務等の穴埋めを図りました。「えにし」と人生の不思議さを感じます。たまたま後醍醐天皇にかかわる神社等を参拝したり、紹介したりしたことが結局、行在所であったところの船上神社宮司として御奉仕することになるという不思議。膝が痛み、患部に注射をしながら祭典をしてきた自分に鞭打って六百メートルの山道を一時間掛けて登る春の御祭りは、四月十四日に行いました。

先日、御本殿に収まる「棟札」(むなふだ 屋根裏の文化史ともいわれる)を県立博物館学芸委員の方たちと調査しました。詳細については別に譲りますが、神

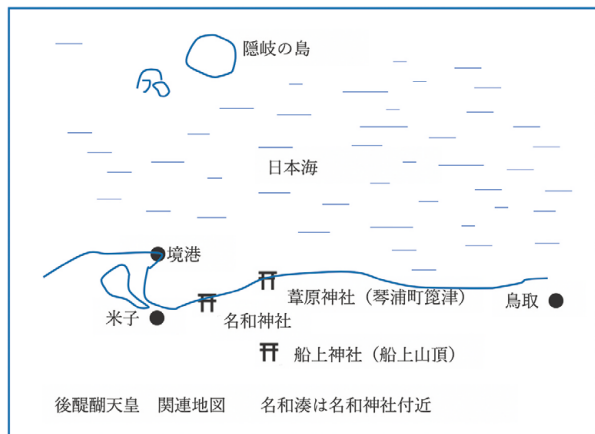
社への崇敬も篤く、また文化財としての寺社にも経済的支援を惜しまない渋沢栄一です。「今、補修をしておかねば歴史を語り継げない」という気持ちであったようです。渋沢栄一の名前が大きく書かれている二メートルの棟札が二枚出てきました。あらかじめ事前の調査ではわかつてはいましたが、新壺万円札の人物になる人となると、また、特別な気持ちがわいてきました。

吉野神宮の絵馬から

吉野神宮で求めた絵馬(写真)をご覧ください。後醍醐天皇のそばにひかえるのは名和長年です。約六十キロ離れた隠岐から日本海を渡り、伯耆の国へ御着船されました。日本海の荒波が左端に見えます。

「忘れめや よるべも涙の あら磯を み船の上に とめし心は」と、名和長年が賜った和歌が松の枝の右に書かれています。吉野神宮の絵馬を納める袋には「稲津浦へ環幸の絵馬」と明記されています。この御着船の場所は一切どこでしょう?そして「稲津浦」ってどこでしょう?それをめぐりいくつかの候補があげられています。

一番定着しているのが南朝(吉野)を支持する『太平記』にも書かれている「名和」の港です。逆に足利方からの視点で書かれた『梅松論』(ばいしょうろん)には奈和庄野津郷(現 鳥取県



琴浦町寛津(ことうらちょう のつ)、『増鏡』には、稲津浦(いなつうら)とあります。『古本伯耆巻』は、大坂と書いています。現在の逢坂(大山町おうさか)のことです。『増鏡』の稲津は角川の地名辞典鳥取県版によれば、「稲津なる地名は今日残っておらず明らかではないが、『梅松論』などにいう「野津」(赤碕町寛津)のことではないかと推定される。」とあります。つまり『太平記』の名和説ではなく、野津説であることが判ります。ちなみに私の自宅は琴浦町寛津の海岸まで三百メートルです。今度後醍醐天皇の御事跡をめぐる旅を計画してみてもいかがでしょうか?ご案内いたします。

後醍醐天皇隠岐より
稲津浦へ還幸の絵馬



吉野神宮の絵馬と絵馬袋



平野地車 6/2昇魂式 芦屋濱乃町に譲渡されました

- 四月 一日 月次祭
七日 御影「はなびらまつり」開催
同日 月 釜(表千家・宗静会)
十日 神社庁神戸市支部東灘部会
定例部会 於 三王神社
宮司・職員参加
三十日 奉祝提灯行列
五月 一日 月次祭
三日 春季大祭 参列四十八名
四日 地車宮入
十一日 兼務社 西平野厳島神社春祭
十三日 月 釜(裏千家・伊藤宗和)



昨年の大祓式

- 六月 一日 月次祭
二日 弓弦羽神社責任役員会
(決算等審議)於 社務所
同日 平野地車 昇魂式
四日 神道政治連盟近畿地区役員会
於 京都北野天満宮 文道会館
十日 月 釜(裏千家・渋谷宗雅)
十六日 崇敬会旅行
奈良県 橿原神宮
十九日 兵庫県神道教誨師会総会
於 生田神社会館 宮司出席
三十日 夏越「大祓」

- 七月 一日 月次祭
九日 月 釜(裏千家・大井宗紅)
八月 一日 月次祭
二十日 夏祭・崇敬会大祭
二七、二八 第十四回 全国熊野会総会
於 神戸 生田神社会館
弓弦羽神社 参拝
九月 一日 月次祭
八日 月 釜(裏千家・燦燦会)
十月 一日 月次祭
十二日 兼務社 西平野厳島神社例祭
同日 本殿正遷座祭
十二日 奉祝祭・例祭
十三日 奉祝 地車宮入
二十日 月 釜(裏千家・政 宗穂)
十一月 一日 月次祭
十月 中 七五三御祈祷受付
十二月 一日 月次祭
八日 月 釜(裏千家・高濱宗益)
三十日 年越「大祓」除夜祭

令和元年 下半期行事予定

日記抄

- 一月 一日 歳旦祭
吉例 鏡開(ふるまい酒)
境内警備 奉仕 各地区青年会
三日 元始祭
新春「壽」茶席
同 奉仕 淡交会第一支部青年部



恒例「壽」茶席

- 三日 氏子地区各団体・企業
年頭祈願祭
十四日 御保岐祭
十五日 とんど(神札・注連飾焼納)
二十三日 仮殿遷座祭

- 二十七日 春祭・地車祭 打合始
同 新春奉仕総代・青年会 懇親会
三十日 神社庁神戸市支部 新年総会
於 神仙閣 宮司・職員出席
二月 一日 月次祭
三日 御影新年互例会
於 御影公会堂 宮司出席
四日 神社庁神戸市支部東灘部会
定例部会 於 本住吉神社
宮司・職員参加
九日 澤之井 祭
十日 月 釜(表千家・加藤かず江)



仮殿遷座祭 詳細は7頁

- 二十四日 祈年祭 参列二十六名
同日 総代会 参加二十五名
二十七日 兵庫県神社庁神戸市支部
顧問・参予 役員懇親会
於 三宮 銀平 宮司 出席
三月 一日 月次祭
三日 平野 三星稲荷社 稲荷祭
十日 月 釜(香道泉山御流)
十二日 神戸拘置所 教誨師会
於 生田神社会館
十七日 弓弦羽神社責任役員会
(予算案等審議)於 社務所
二十四日 西之町 富玉稲荷社 春祭
二十六日 神社庁神戸市支部総会
於 長田神社 宮司・職員出席



5/3 仮殿(中門)前にての春季大祭

